



■ 避難所一覧

名称	住所	備考
指定緊急避難所 		
御母衣電力館	白川村牧140-1	
旧平瀬小学校体育館	白川村平瀬126-11	
白川村南部地区文化会館	白川村平瀬126-11	
平瀬保育園	白川村平瀬126-10	
常德寺	白川村平瀬237	
南部公民館	白川村平瀬80-1	
大白川温泉しらみずの湯	白川村平瀬247-7	
木谷多目的集会施設	白川村木谷621	
森の食彩館白真弓	白川村木谷868-1	
荻町多目的集会施設	白川村荻町256	
明善寺	白川村荻町679	
本覚寺	白川村荻町385	
白川村コミュニティ消防センター	白川村荻町1117-1	
戸島多目的活動施設	白川村荻町1628	
白川保育園	白川村荻町1673	
旧白川小学校体育館	白川村鳩谷15	
鳩谷コミュニティ会館	白川村鳩谷111	
ふれあい体育館	白川村鳩谷575-1	
白川郷学園体育館	白川村鳩谷575-1	
白川村総合文化交流施設	白川村飯島873	
飯島集落センター	白川村飯島259-2	
トヨタ白川郷自然学校	白川村馬狩223	
かんなかべ	白川村椿原109-1	
小白川冬期孤立集落機能維持施設管理棟	白川村小白川478-1	
広域避難所 		
道の駅飛騨白山	白川村平瀬516-12	
白川村防災グラウンド	白川村鳩谷664-13	
白川郷学園屋外運動場	白川村鳩谷604	
道の駅白川郷	白川村飯島411	

令和2年度 白川村



ハザードマップ

災害時には、「自分の命は自分で守る」という「自助」、**「みんなの地域はみんなで守る」という「共助」、**つまり村民自身の取り組みが何より重要です。

「自助」としては、日頃から自宅周辺の危険箇所を把握したり、避難所を確認すること、災害時にあっては危険な場所に近づかないこと、危険な状態を察知したら迅速に避難することなどが重要です。

「共助」としては、地域のお年寄りをはじめ支援を必要とする方への手助け、また観光客の方々への情報提供、避難のサポートなども重要です。

こうした「自助」「共助」を、「公助」として国や県、村が支援します。

「自助」「共助」の活動をサポートするため、適時・的確な情報の提供を目指します。

大雨による土砂災害や水害、地震や火山による災害はいつやってくるかわかりません。

ハザードマップのほか、実際に見て回ること危険箇所や区域を確認し、日頃から災害を意識した備えをして、地域や家庭、自身の防災活動に活用してください。



昭和51年9月豪雨災害の記録



牧地内 不動谷氾濫による国道156号の決壊



平瀬地内 庄川の氾濫



増水した庄川 (旧平瀬小中学校)



保木脇地内 ナオ谷の土砂流出

平成30年7月豪雨災害の記録



増水した庄川 (瀬音さくら山荘前)



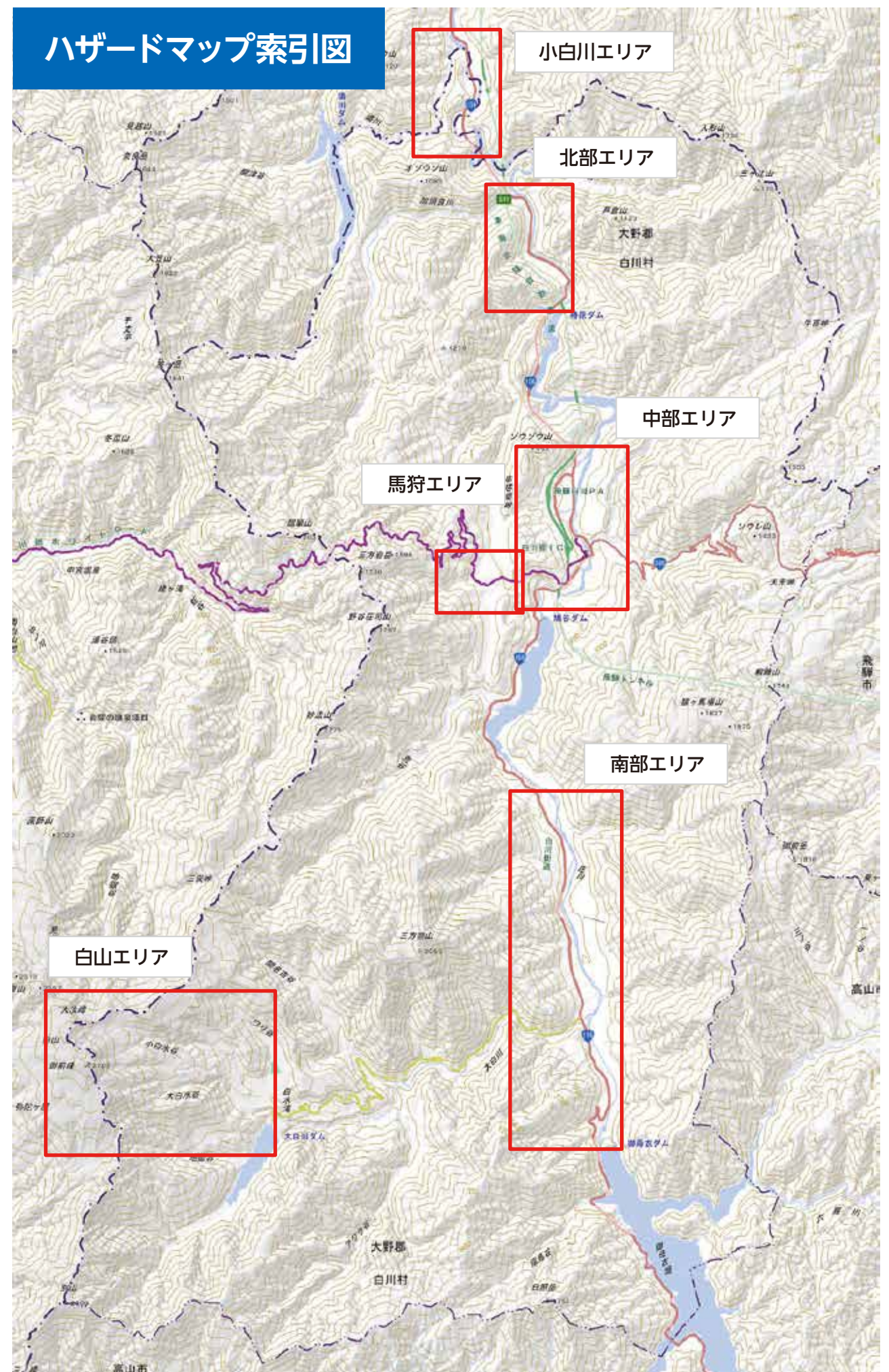
尾神地内 国道156号法面崩壊



稗田地内 村道への流水 (川本ポンプ前)



御母衣地内 護岸決壊



■ 被害想定 の 解説

土砂災害 (特別) 警戒区域と設定について

崖崩れ

急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響によって、突然崩れ落ちる現象です。突然発生し、かつ崩れるスピードが速いです。

崩れた土砂は、斜面の高さの2~3倍も離れた距離まで届くことがあります。

- 斜面から水が湧き出す
- 斜面から音がする
- 斜面から何かが落ちてくる

というような現象に注意ください。

地すべり

比較的緩やかな斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へ移動する現象です。

斜面の表面部分だけが崩れ落ちる現象を表層崩壊といい、表面部分だけでなく深層の地盤までもが崩れ落ちる現象を深層崩壊といいます。

大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、大きな被害を及ぼします。

- 木が傾く
- 木の根が切れる音がする
- 地面に亀裂や段差が生じる
- 地面が揺れる
- 地鳴り山鳴りがする

というような現象に注意ください。

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などの影響によって、一気に下流へと押し流される現象です。

規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度になり、破壊力がとても大きいです。

- 流れる水が異常に濁っている
- 流木が流れてくる
- 地鳴りや土臭い臭いがする
- 渓流の水位が急に減少する

というような現象に注意ください。

また、これら土砂災害警戒区域の中でも、住民の生命又は身体に著しい被害が予測される区域を**土砂災害特別警戒区域**としています。

融雪型火山泥流の設定について

6mの積雪に、マグマ噴火による500万m³の火砕流が発生することを前提としています。

融雪型火山泥流は、噴火に伴う高温の噴出物が火口付近の積雪を急速に溶かし、それによって発生した大量の水が周辺の土砂を巻き込みながら流下する現象で、積雪期には規模が大きくなり、保木脇地区まで達することが想定されます。

河川氾濫 (浸水想定区域) の設定について

◇L1

作成時点の庄川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる概ね50年に1回程度起こる洪水により庄川が氾濫した場合の浸水の状況を簡易的なシミュレーションにより予測したものです。氾濫する範囲を一括して掲載しています。

作成の前提となる降雨 洪水到達時間 (約385分) 内の降雨量 1/50規模 (降雨量170mm)

◇L2

作成時点の庄川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により庄川が氾濫した場合の浸水の状況を簡易的なシミュレーションにより予測したものです。氾濫する範囲を5段階に色分けして掲載しています。

作成の前提となる降雨 洪水到達時間 (約385分) 内の降雨量 想定最大規模 (降雨量251mm)

想定する最大規模の洪水、融雪型火山泥流はそうそう起こりうるものではありません。しかし、近年の気象現象の変化や過去の災害の痕跡等から、可能性は十分にあります。また、範囲に含まれないから安心という事はありません。ハザードマップに掲載されていない場所で発生した災害に巻き込まれるという事例は全国的に見られます。

恐れすぎるのでも、高を括るのでもなく、状況に応じて警戒してください。

■ マップを完成させましょう

ハザードマップもこのままでは起こりうる最悪の事象の対象となる範囲を示すだけのものとなります。自身の手で、完成させましょう。

1. 避難所までの道のりを書き込みましょう。

災害の種類により開設する避難所が変化します。

災害時にその道が使えるか予測して、複数の避難所への道のりを確認しましょう。

2. 避難所までの危険箇所を確認しましょう。

確認した道を実際に歩いてみて、危険な箇所を確認しましょう。

流れの強い水路、崩れそうな場所、踏み外しそうな場所は災害時に急変することがあります。

3. 家族の連絡先を確認しましょう。

直接つながる携帯電話だけでなく、学校や勤務先なども残しましょう。

電話に残すだけでなく、電話が壊れたときのために紙に書いて残しましょう。

名前 _____	電話 _____	名前 _____	電話 _____
名前 _____	電話 _____	名前 _____	電話 _____
名前 _____	電話 _____	名前 _____	電話 _____
名前 _____	電話 _____	名前 _____	電話 _____

■ 地震について

大雨を原因とする土砂災害・浸水害は天気予報から発生を予想し備える事ができますが、地震の多くは前触れ無く発生します。

地震発生時には、次のことに気をつけましょう。

1. 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる
- 慌てて外に飛び出さない
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない
- 扉を開けて避難路を確保する

2. 人が大勢いる施設（大規模店舗などの集客施設）にいるとき

- 慌てずに施設の従業員や係員などの指示に従う
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる
- 吊り下がっている照明などの下から退避する
- 慌てて出口や階段に殺到しない

3. エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

4. 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる

5. 山や崖の付近にいるとき

- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる

6. 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる

7. 自動車の運転中

- 慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する

※中部エリアのマップの下に、県内で活断層が原因として発生が危惧されている地震の想定震度を示しています。

白川村に大きな被害をもたらすことが考えられるものとして、跡津川断層地震、高山・大原断層地震があります。

■ 災害が発生する前に確認しておきましょう

1. 情報を入手しましょう

役場からの情報は同報無線によるものが主体となります。日頃から無線の管理をしておきましょう。また、テレビやラジオ、インターネットなどで情報を入手できるようにしましょう。災害時には使えなくなる恐れもあるため、手段は多く確保することが大事です。また、SNSなどの嘘情報に惑わされないよう注意しましょう。

2. 近くに避難が困難な方はいませんか

近所のお年寄りや小さな子供、けがをしている方や妊娠している方など避難が困難な方を把握し、有事の際は助けてください。

3. 避難所に行くことだけが避難ではありません

夜間に避難所へ避難することは日中に比べ危険度が増します。暗闇かつ大雨の中では目や耳から入る情報が大きくさえぎられ、より危険になります。そのようなときは、家の中でもなるべく高い場所で、崖や流水などから離れた部屋に逃れることも一つの避難です。避難できる部屋を確認しておきましょう。

4. 災害時の伝言サービスは利用できますか

災害時の伝言サービスを利用できるように確認しましょう。NTT西日本 災害用伝言ダイヤル「171」「web171」の他、各携帯電話事業者から同様のサービスが用意されています。録音できる時間に制限があり、内容をまとめて話す必要があります。

5. 持出品・防災用具はありますか

非常用の持出品、非常食、医薬品、貴重品、エチケット品などの確認をしましょう。また、使用期限が切れていないか定期的に確認をしましょう。

6. あらかじめ防ぐことができる危険の原因を把握・解消しましょう

増水の原因となる水路の詰まり、怪我や事故の原因となる蓋の無い水路・増水時見えなくなる段差・穴などの危険箇所について、処置が可能なものは実施し、できないものは目印をするなど位置を把握し、災害時に近寄らないようにしましょう。

7. アレルギーや持病について確認しましょう

避難所では、多くの人の出入りによるハウスダストや粉じんなどからの喘息、配給される食事や炊き出しなど食料に含まれるアレルギー、アトピーの悪化、薬の調達等、日々の生活以上に気をつける必要があります。被災して慌てて周りの人たちに理解を求めても、時間を要します。また、持病のある方も薬の調達が困難になる事が考えられます。必要なもの、だめなものをカードにまとめ日頃から備えておくことで、災害時以外にも有事に備える事ができます。

■ 持出品・備蓄品チェックリスト

リストを参考に、持出品・備蓄品を用意しましょう。携帯品は、日頃携帯できるものとなります。
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター (www.dri.ne.jp) より引用

備えを進める 減災グッズ チェックリスト						
分類	品目	0 預備	1 持出	2 備蓄	メモ	
基本 品目	バッグ	非常持出し袋	○	○		
	水	飲料水	○	○	○	0次:500ml、 1次:一人1.5ℓ程度
		携帯食	○	○	○	チョコレート、キャンディー、 栄養補助・調整食品など、 乾パンなど、水・調理なしで そのまま食べられるもの。
	装備	ヘルメット・防災ずきん・帽子など	○	○	○	頭を保護して逃げるもの。
		ホイッスル	○	○	○	
		手袋 (作業用)	○	○	○	革製など丈夫な素材のものを。
		運動靴	○	○	○	
		懐中電灯 (予備電池・電源も)	○	○	○	0次はミニライト等携帯用。 発光・充電式も参照。
	道具	万能ナイフ類	○	○	○	ハサミ、ナイフ、カンキリなど の複合ツールが便利。
		ロープ (10m)	○	○	○	救助、避難はこの代用 体重を支えられる長さ。
	情報	携帯ラジオ (予備電池も)	○	○	○	増設増設:ライト・携帯電話充電など のものもある。0次は携帯性重視。 1次・2次ではスピーカー付きが良い。
		携帯電話 (充電器・バッテリーも)	○	○	○	
		連絡メモ・備えリスト	○	○	○	
		身分証明書 (そのコピー)	○	○	○	健康保険証、運転免許証、 パスポート、外国人登録証など
筆記用具 (メモ帳とペン)		○	○	○		
油性マジック (太)		○	○	○	伝言を書く。	
現金 (10円硬貨含む)	○	○	○	公衆電話用に10円、100円玉が必要。 携帯・自宅電話がつかない時。		

○を参考に、あなた自身、あなたの家庭、通勤・通学先の備えを検討してください。

あなた自身にとって必要な数量、品目の3ステップをプランし、活用ください。

分類	品目	0 預備	1 持出	2 備蓄	メモ
個別 に検 討す る品 目	貴重品	予備鍵 (家・車等)			
	予備メガネ・コンタクトレンズ				
	通帳・証書類のコピー				
	印鑑				
女性	生理用品 (おりものシート)				備の多いで備、ケースの代用としても 要する。
	防犯ブザー				
	くし・ブラシ、鏡				
	化粧品				
高齢者	髪をくるくるゴム				お風呂に入れない時、髪をまとめれば 不快感が軽減される。
	介護手帳				
乳幼児	紙おむつ				
	介護用品				
	入れ歯				
	補聴器				
障害者 ・ 外国 人 など	粉ミルク・哺乳瓶、離乳食				
	清浄綿				
	バスタオル				
	紙おむつ				
	だっこ紐				
	母子手帳				
ペット	障害者手帳				
	助けを求める手段				ホイッスル、サイレン、など
	移動を助ける手段				杖、白い杖、杖、点字、など
	情報を得る手段				ラジオ、ワンセグ、録音機、など
	コミュニケーションを助ける手段				筆記用具、レコーダー、 コミュニケーションボード、など
	落ち着ける・安心できるもの				お気に入りのグッズ、など
要介護者と確認できる外装				ゼッケン、フラッグ、など	
ペット用品				食料、など	

■ 防災情報

防災情報提供サービス

- 岐阜県総合防災ポータル <https://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>
県内の避難情報、避難所開設情報等が確認できます (QRコードあり)
- ぎふ土砂災害警戒情報ポータル <http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/>
県内の土砂災害の危険度を1kmメッシュで確認できます
- 岐阜県川の防災情報 <http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/#/home>
県内の水位計 (危機管理型を除く) の他、雨量計、雨量レーダーが確認できます
- 岐阜県道の情報 http://douro.pref.gifu.lg.jp/Road_Maintenance/kisei.asp
県管理道路の通行止め情報が確認できます
- ぎふ川と道のアラームメール登録 <https://service.sugumail.com/gifu/member/>
県内希望地の大雨、洪水、道路規制情報をメールで受信できます (QRコードあり)
- ぎふライブカメラ <https://dourocamera.pref.gifu.lg.jp/>
岐阜県・国道事務所の道路カメラが確認できます
- 気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
気象情報、警報、特別警報等確認ができます。
- 川の水位情報 (危機管理型水位計) <https://k.river.go.jp/>
危機管理型水位計の情報が確認できます (QRコードあり)
- 国土交通省川の防災情報 <https://www.river.go.jp/portal/#80>
御母衣ダムの水位、流入・放流量が確認できます (QRコードあり)
- 中部電力停電情報 <https://teiden.chuden.jp/p/gifu.html>
中部電力の停電状況が確認できます。(アプリダウンロード用QRコードあり)



総合防災
ポータル



アラーム
メール



川の
水位情報



川の
防災情報



中電停電お知らせサービス

※アドレス・QRコードは変更される場合があります。

■ 大雨の避難警戒レベルと、レベル相当情報

避難が必要になった場合、村からの情報は避難警戒レベルとして以下のように発表されます。
レベル3以上は避難に向けた行動をお願いします。

○レベル3情報 「避難準備・高齢者等避難開始」

- ・要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始
避難支援者は支援行動を開始
- ・上記以外の者は、家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始

○レベル4情報 「避難勧告」または「避難指示」

- ・通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所等への避難行動を開始（避難勧告）
- ・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了（避難指示）
- ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、
生命を守る最低限の行動（避難指示）

○レベル5情報 「既に甚大な被害が発生している情報」

また、レベル1、2については以下の状況で气象台から発表されます。

○レベル1情報 「早期注意情報」

○レベル2情報 「大雨・洪水注意報の発表」

气象台からは、大雨情報（土砂災害の危険度分布）により、
レベル相当情報が次のとおり発表されます。

- ◇レベル2相当情報 2時間先までに注意報基準に達すると予想される場合
- ◇レベル3相当情報 2時間先までに警報基準に達すると予想される場合
- ◇レベル4相当情報 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に達すると予想される場合
- ◇レベル5相当情報 すでに土砂災害警戒情報の基準に達している場合

どちらも危険の度合いを示す必要な情報ですが、混同しないようご注意ください。

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報		名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報	
警戒 レベル	住民がとるべき行動	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
		浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	命を守る最善の行動	5 相当	大雨特別警報 （土砂災害）
4	危険な場所から 全員避難	4 相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	2 相当	氾濫注意情報 —
1	最新情報に注意	1 相当	—

■ 避難所の利用・運営におけるポイント

開設した避難所の情報はその都度同報無線でお知らせします。
災害の種類によって解放できない場合がありますので、避難先を誤らないようご注意ください。

※水害発生時に河川氾濫区域内の避難所は利用できません。

※土砂災害発生時に土砂災害特別警戒区域内の避難所は利用できません。
また、土砂災害警戒区域内の避難所を利用する際は周囲の状況にご注意ください。

避難所の運営の際には村職員やボランティアが配置されますが、不足する場合があります。
そのため、避難者の皆さんがお互いに支えあい、避難所の管理をしていただく事が大切になってきます。

■ 避難所を快適に過ごすために

避難所では、限られた空間の中で、たくさんの方々が生活します。
次のことに注意をして、良好な環境を保ちましょう。

1. 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。
2. ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声をあげたりするのはマナー違反です。
3. 避難者もできる範囲で、受け付けや清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担をしましょう。
4. 助け合いながら避難所運営に参加しましょう。
5. エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
6. かぜやインフルエンザをはじめとする感染症を予防するため、手洗い・うがいをしましょう。
特にワクチン等対策が無い新しい病気は、集団感染の危険性が高まります。換気、マスク、
十分な睡眠も有効です。
7. 熱中症予防のため、水分補給、室温調整、衣服の工夫をしましょう。
8. 食中毒の予防のため、手洗い、消毒、賞味・消費期限の確認をしましょう。
9. 避難所全体の衛生を保ちましょう。

■ 公共機関等電話番号

名称	住所	電話番号
白川村役場	白川村大字鳩谷517	05769-6-1311
白川村南部地区文化会館	白川村大字平瀬126-11	05769-5-2180
高山警察署 鳩ヶ谷駐在所	白川村大字鳩谷434-1	05769-6-1004
高山警察署 平瀬駐在所	白川村大字平瀬353-37	05769-5-2261
高山消防署 白川出張所	白川村大字鳩谷498	05769-6-2099
JAひだ 白川支店	白川村大字荻町333	05769-6-1301
白川郷観光協会	白川村大字荻町1086	05769-6-1013